

「平成 23 年度保物セミナー」の開会の挨拶

只今ご紹介いただきました辻本です。

保物セミナーは通年 11 月ごろの開催させていただいておりますが、本年は 1 月の本日になってしまいました。

今年も保物セミナーを開催するのであれば「福島第 1 原子力発電所の事故」を取り上げるべきであるとおもいました。

ところが「福島第 1 原子力発電所の事故」は新しい事象が次から次へと出てきました、さらに講師をお願いしようとした先生方は非常にお忙しく願いが難しくなりました。そこで、今年はやめようという意見まで出てきました。ところが 11 月ごろになると、今年の保物セミナーはいつ行うのかという問い合わせがいろいろなところより寄せられてきました。そこで、福島第 1 原子力事故もやや収束してきましたので、保物セミナーを開催することにいたしました。この決断は 11 月の終わりになってからです。テーマ及び講師を決めましたのは 12 月も終わりになってからです。それから講師先生に原稿を依頼いたしました。原稿の締切日は 1 月 10 日です。先生方は年末、年始に本当に原稿を書いてくださるだろうか心配でした。しかし、先生方は原稿を書いてくださいました、そして、このような要旨集ができあがりました。講師先生方本当にご無理をもうしました。また、広告及び本セミナーを準備していただいた人たちにはいろいろと無理なことをお願いいたしました。ここに改めてお礼を申し上げます。さらに、本日ご参加くださいました、皆様に対する案内も本格的に行ないましたのは年が明けてからです。ところが、本日このようにたくさんの人がお集まりくださいました。本当にありがとうございます。

本日ご参加のみなさまには福島第 1 原子力発電所事故を事故と関係の深い人たちが大勢おられることと思います。一度、今回の事故を冷静に振り返り、今後の我々の活動に生かしていきたいと考えております。十二分にご討議頂きまして本セミナーが皆様の今後の活動にお役に立てば幸いとすることでございます。簡単でございますが、これをもちまして開会の挨拶に替えさせていただきます。